

研究実施のお知らせ

研究課題名：重症低ナトリウム血症への経時的補正の有効性評価

研究期間：倫理審査委員会承認日～平成 35 年 3 月 31 日

仙台市立病院では、上記課題名の研究を行います。「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成 29 年 5 月 30 日施行）に基づき、匿名化された既存情報（診療録等）の研究利用について、以下に公開いたします。

【研究の対象となる方】

当院にて 2014～2018 年の ICU に入室した重症低ナトリウム血症の患者さま

【研究の目的と意義】

低ナトリウム血症は適切に補正を行わなければ脳障害など重大な合併症を併発する疾患です。その補正には数時間ごとに頻回採血することが推奨されていますが、これは一般病院においてはやや現実的ではありません。急性期病院である当院ではこれまでに重症の低ナトリウム血症に対して ICU 入室とし動脈ライン留置することで患者さまの頻回採血への負担を軽減し簡便な評価法を行ってまいりました。そこで当院での患者様データを用いて重症低ナトリウム血症となる背景の原因分析が可能となり、原疾患に応じたより適正で安全な補正管理法が提案できると考えます。

【研究の方法】

単一施設の後向き観察研究です。すでに記載された患者さまの診療録から必要な項目を抽出し、その背景要因を解析します。

【研究に用いる試料・情報の種類】

診療録に記録された診療情報・問診票等を、研究に使用させていただきます。使用に際しては、倫理指針等により個人情報情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

【研究の実施体制】

この研究は、単一施設で実施されます。

研究代表者：

仙台市立病院 内科 竹内陽一

【お問い合わせ先】

この研究への情報提供を希望されないことをお申し出いただいた場合、その患者さんの情報は利用しないようにいたします。ただし、お申し出いただいた時に、すでに研究結果が論文などで公表されていた場合などは、完全に廃棄できないことがあります。情報の利用を希望されない場合、あるいは不明な点やご心配なことがございましたら、ご遠慮なく下記連絡先までお問い合わせください。この研究への情報提供を希望されない場合でも、診療上何ら支障はなく、不利益を被ることはありません。

仙台市立病院 内科

科部長 秋保 直樹

医長 竹内 陽一（当院の研究責任者）

仙台市太白区あすと長町一丁目 1 番 1 号

電話：022-308-7111（代表）